

# 鹿児島県枕崎市

## 都市で“絆”を深める

平成24年4月に鉄道の最南端・最北端の始発・終着駅を有する都市として、鹿児島県「枕崎市」と本市が友好都市を締結し、今年で10周年を迎えました。これを記念して、稚内市民訪問団を結成し、枕崎市を訪問しました。



10月29日から11月1日までの日程で、工藤市長をはじめ、市内団体や一般で応募された市民のほか、市内高校生など、稚内市民訪問団38名が枕崎市を訪問しました。



FDAの機体に乗る前に記念写真

今回は、フジドリームエアラインズ(FDA)が稚内空港就航10周年を迎えたことから、同じ10周年繋がり

を記念し、稚内空港から鹿児島空港までのチャーター機を手配。緑色の機体に乗



ホテル従業員による見送り

翌30日、ホテルの従業員の鹿児島弁で「ありがとうございませう」の意味の「あいがともさげました」の見送り



出迎える枕崎市の皆さん

一行は早速、枕崎市内の観光地を視察。まずは枕崎市



カツオの炭焼き体験の様子

半分にしたドラムカンの中に炭を入れ、網の上でカツオを豪快に焼いていきます。

続いて、「火之神公園」を視察。ここでは、火の神乙女太鼓による太鼓の演奏4曲が披露されました。



太鼓の叩き方を教わる市民訪問団

明治時代から続く九州最南端の焼酎蔵である「薩摩酒造明治蔵」では、芋焼酎

「さつま白波」の工場などを見学し、焼酎が出来るまでの工程などを学び、枕崎市の自然や文化、歴史に触れました。



焼酎が出来るまでの工程を学ぶ

夜は、「花渡川ビアハウス」で歓迎交流会に参加。前田市長から「関係団体の積極的な交流により充実した10年間となりました。また、青少年交流など、色んな世代でお付き合いできて



前田市長へ記念品を贈呈

乾杯のあと、「きびなご」や「さつま揚げ」、「こが焼き」など、鹿児島島の郷土料理やおふくろの味に舌鼓。アトラクションでは、鹿児島水産高校「カツオ捌き隊」による解体ショーやカツオ節削り大会で盛り上がり



両市長も参戦！カツオ節削り大会

また、この歓迎会には、今年6月に本市を訪問した、枕崎市民訪問団の方にも参加いただき、一行は再会を喜び、交流を深めました。枕崎市訪問最終日となった31日、平日の朝早くにもかかわらず、前田市長をはじめ、多くの関係者の皆さんに前日のお出迎えと同様に温かくお見送りいただきました。訪問団一行は、笑顔で別れを告げ、再会を約束。両市長が挨拶で語ったように「この関係を末永く続けたい」と参加者一人ひとりが感じたに違いありませんし、両市の絆の強さを再確認する意義深い訪問となりました。